

COMING
SOON

5/7〜『リンダ・ロンシュタット サウンド・オブ・マイ・ヴォイス』『国境の夜想曲』『夕方のおともだち』『ONODA 一夜を越えて』『ハイジ アルプスの物語』(吹替版)、
5/14〜『親愛なる同志たちへ』『湖のランスロ』『たぶん悪魔』『GAGARINE/ガガーリン』、5/21〜『スージー-Q』『ふたつの部屋、ふたりの暮らし』『林檎とポロロイド』、5/28〜『勝手にしやがれ』『気狂いピエロ』、6/4〜『ニトラム NITRAM』、
6/11〜『愛なのに』、6/18〜『猫は逃げた』『テレビで会えない芸人』
(順次)『牛久』『金の糸』『アネット』『見えるもの、その先に ヒルマ・アフ・クリントの世界』『社人 環境再生医 矢野智徳の挑戦』『山歌』『アンラッキー・セックスまたはイカれたポルノ』『インフル病みのペトロフ家』『フェルナンド・ポテロ 豊富な人生』
『チロヌブカムイ イオマンテ』『パティシエさんとお嬢さん』.....and more



白い牛のバラッド

[2020年/イラン・フランス/ペルシア語/105分] 監督:ベタシュ・サナイハ、マリヤム・モガッダム 出演:マリヤム・モガッダム、アリレザ・サニファル、プーリア・ラヒミサム

男はなぜ、私の前に現れたのか

シングルマザーのミナは、テヘランの牛乳工場で働きながら聴覚障害のある娘ピタを育てている。ある日、裁判所に呼び出された彼女は、1年前に殺人罪で処刑された夫のババクが無実だったと告げられショックを受ける。裁判所に通い、死刑宣告をした担当判事に謝罪を求め中、ミナは夫の友人だと名乗る男性レザの訪問を受ける――。

[上映日程] 4/23~5/6 (休映:4/25)



夜空に星のあるように

[1967年/イギリス/102分] 監督・脚本:ケン・ローチ 原作・脚本:ネル・ダン 音楽:ドノヴァン 出演:テレンス・スタンプ、キャロル・ホワイト、ジョン・ピンドン、クイニ・ワッツ、ケイト・ウィリアムス

彼は、私のために、花束を盗んでくれた。

ジョイは、泥棒稼業で生計を立てているトムと成り行きで結婚し妊娠、出産する。ところが、トムは赤ん坊に無関心で早く彼女に手をあげる始末。ある日、トムが逮捕され、ジョイは叔母の家に厄介に。そこに夫の仲間だったデイヴが訪ねてくる。やがて彼女は優しいデイヴに惹かれ幸せな日々を送るが、彼もまた逮捕されてしまう。

[上映日程] 4/9~15 (休映:4/11)



シティ・オブ・ジョイ

4K デジタル
リマスター版

[1992年/フランス・イギリス/英語/135分] 監督:ローランド・ジョフィ 原作:ドミニク・ラビエール『歓喜の街カルカッタ』 音楽:エンニオ・モリコーネ 出演:パトリック・スウェイツ、ポーリーン・コリンズ、オム・プリ、シャバナ・アズミ、アイーシャー・ダルカル、アート・マリク

“歓喜”の魂が交錯する――。

ひとりの少女の命を救えなかったことで自らの無力さに打ちひしがれたアメリカ人の医師マックスは、救いを求めてインドのカルカッタを訪れる。「歓喜の街」と呼ばれるスラム街で、車引きのハザリ一家や街の診療所を営む白人女性ジョアンと知り合ったマックスは、成り行きから診療所を手伝うようになり、懸命に生きる街の人々との触れ合いを通じて、再び人生の意義を見いだしていく。

[上映日程] 4/9~22 (休映:4/11、18)

アピチャップン・イン・ザ・ウッズ2022



[上映日程]
4/30~5/13
(休映:5/9)
[鑑賞料金]
一般¥1,500
映劇特別会員¥1,000
その他通常通り

音響と映像に覚醒する
カンヌ国際映画祭最高賞受賞。個展「亡霊」開催。「フィーバー・ルーム」上演。そして今年、コロナで撮影した新作『MEMORIA メモリア』が公開されるアピチャップン・ウィーラセタクン。本特集ではタイ時代の代表作を特集。故郷タイ東北部の森に覚醒された音と映像が映画を拡張させていくアピチャップンの才能をあらためて全身で感じてください。



真昼の不思議な物体

[2000年/タイ/モノクロ/35mm/83分]

映画の常識を軽々と超えた記念すべきデビュー長編
タイ北部の村で行商人の女性が、撮影クルーに促され、一つの架空の物語を語り始める。その続きを象徴する少年たち、伝統演劇の劇団員たちなど、様々な人々がリレー形式で即興的に語り継ぎ、物語は二転、三転しながら思わぬ方向に進んでいく…。この作家の現在につながる類まれな創造性が全編を通して発揮されている重要作。



ブンミおじさんの森

[2010年/イギリス・タイ・ドイツ・フランス・スペイン/114分]

カンヌ国際映画祭パルム・ドール受賞の不朽の名作。
腎臓の病に冒され、死を間近にしたブンミは、妻の妹ジェンをタイ東部の自分の農園に呼び寄せる。そこに19年前に亡くなった妻が現れ、数年前に行方不明になった息子も姿を変えて現れる。やがて、ブンミは愛するものたちとともに森に入っていく…。美しく斬新なイマジネーションで世界に驚きを与えた名作。



世紀の光

[2006年/タイ・フランス・オーストリア/105分]

2パート構成の到達点。自ら「もっとも幸福な映画」と呼ぶ必見作。
アピチャップンのアート作品に多くみられる2パート構成の作品。前半は地方の緑豊かな病院、後半は近代的な白い病院が舞台。登場人物の多くも重なり、医師の恋の芽生えなどのエピソードは2つのパートで反復される。ファンの間でも特に人気の高い必見の作品。



光りの墓

[2015年/タイ・イギリス・フランス・ドイツ・マレーシア/122分]

「記憶」というテーマの探求。タイ時代の集大成。
タイで撮影された最後の長編映画。タイ東部の町。かつて学校だった病院。原因不明の「眠り病」にかかった兵士たち。ある日、病院を訪れたジェンは前世や過去の記憶を見る力を持った若い女性ケンと知り合い、眠り続ける兵士イットの面像を見始める…。怒りや悲しみを色濃くしながらも、ユーモアと優しさが胸を打つ感動作。

アピチャップン研究者・中村紀彦さんによる無料オンラインレクチャー開催決定！ | 日時: 4/3 (日) 19:00~21:00 | ZOOMでのLIVE配信+後日アーカイブ配信を予定 | 参加費: 無料 | 申し込みはこちら▶



ロスバンド

[2018年/ノルウェー・スウェーデン/ノルウェー語・スウェーデン語/94分] PG-12 監督:クリスティアン・ロー 出演:ターゲ・ホグネス、ヤコブ・ティールド、ティリル・マリエ、ホイスター・バルゲル、ヨナス・ホフ・オフトブロー 他
ノルウェー発、音楽ロードムービー！
両親の不仲に心を痛めるドラムのグリムと、思い込みが激しい音痴のギター兼ボーカルのアクセルのバンド「ロスバンド・イモターレ」。ノルウェー・ロック大会に出場するため、9歳のチェロ少女ティルダと、近所の名ドライバー、マッティンを伴って、北部の開催地トロンソを目指す――。

[上映日程] 4/16~5/6 (休映:4/18、25)
「週末こども映画館」対象作品につき、お子様同伴の大人1名1,200円/その他通常通り



シング・ストリート

[2016年/アイルランド=イギリス=アメリカ/106分] PG12 監督・脚本:ジョン・カーニー 出演:フェルディア・ウォルシュ、ピーロ、ルーシー・ポインソン、ジャック・レイナー 主題歌:アダム・レヴィーン (MAROON5)
君の夢は、僕の夢になった。
両親の離婚やいじめで暗い日々を過ごすコナーは、音楽好きな兄と一緒にミュージックビデオを見るのが唯一の楽しみという14歳。ある日、ラフィナを見掛け瞬時に恋に落ちた彼は、思わず「僕のバンドのPVに出ない？」と口走ってしまう。慌ててバンドを組んだコナーは彼女を振り向かせようと、クールなPVを撮るため音楽活動に奔走する。

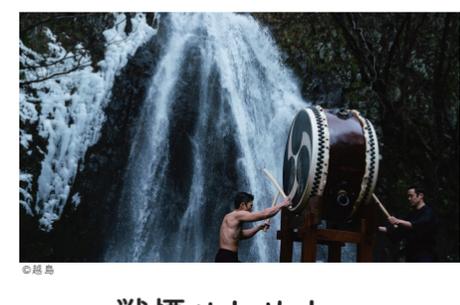
[上映日程] 4/16~29 (休映:4/18、25)
●一般¥1,500/映劇特別会員¥1,000/その他通常通り●本作は特別興行作品につき、年パス・回数券・福利厚生券、招待券、MTAチケットは利用できません。



麻希のいる世界

[2022年/日本/89分] 出演:新谷ゆづみ、日高麻鈴、窪塚愛流、鎌田らい樹、八木優希、大橋律、松浦祐也、青山倫子、井浦新 監督・脚本:塩田明彦 劇中歌:「排水管」(作詞・作曲:向井秀徳)、「ざーざー」(作詞・作曲:向井秀徳)
世界のすべてを敵にまわしても君さえいれば それでいい
由希は持病を抱えており、彼女に求められることはただ生きることだけだった。ある日、由希は海岸で麻希と出会う。麻希は周りから孤立していたが、彼女の勝負気な態度は由希の心のよりどころとなる。そして、麻希が口ずさんだ歌声を聞いた由希はバンドを組もうと提案。由希を慕う祐介は二人の関係に嫉妬しながらも、やがて協力するようになる。

[上映日程] 4/2~15 (休映:4/4、11)



戦慄せしめよ

[2021年/日本/89分] 監督・脚本:豊田利晃 音楽:日野浩志郎 演奏:太鼓芸能集団 鼓童 出演:沢川清彦
すべては叩くという行為からはじまった
佐渡島を拠点に日本の伝統芸能を世界に発信し続け、今年創立40周年を迎えた太鼓芸能集団 鼓童の初の主演映画。鼓童メンバーから届いたメールをきっかけに、goat, YPY, GEIST等のマルチな活動で知られる音楽家の日野浩志郎が、延べ1ヶ月に及ぶ鼓童村での滞在制作で書き下ろした89分の楽曲群を、鬼才・豊田利晃が全編佐渡島で撮影、映像化した、震撼音楽映画。

[上映日程] 4/30~5/6



世界でいちばんのイチゴミルクの作り方

[2014年/ドイツ/日本語/83分] 製作・共同脚本・監督:ファイト・ヘルマー
子どもはみんな問題児。
世界で50以上の子供映画祭で受賞した、やんちゃな4歳児たちが騒動を巻き起こすキッズ・ムービー。一風変わった高齢者たちが厄介払いで老人ホームに入れられてしまい、遊び相手を奪われた子供たちが彼らを救い出そうと、賢いアカハナグマと一緒に奮闘する。

[上映日程] 4/2~3、16、23~24
●お子様同伴の大人1名1,200円/一般¥1,500/映劇特別会員一律¥1,000/その他通常通り●本作は特別興行作品につき、年パス・回数券・福利厚生券、招待券、MTAチケットは利用できません。



GUNDA/グンダ

[2020年/アメリカ/ノルウェー/93分] 監督:ヴィクトル・コサコフスキ エグゼクティブ・プロデューサー:ホアキン・フェニックス
無限の宇宙がすぐそこにある
ある農場で暮らす母豚グンダ。生まれたばかりの子豚たちが、必死に立ち上がり、乳を求める。一本脚で力強く地面を踏み締める鶏。大地を駆け抜ける牛の群れ……。その深遠なる世界には、ナレーションや音楽は一切ない。研ぎ澄まされたモノクロームの映像は、本質に宿る美に迫り、驚異的なカメラワークは躍動感あふれる生命の鼓動を捉える。

[上映日程] 4/9~22 (休映:4/11、17~18)
「週末こども映画館」対象作品につき、お子様同伴の大人1名1,200円/その他通常通り



夢みる小学校

[2021年/日本/91分] 監督・撮影・編集:オオタヴィン ナレーション:吉岡秀隆 エンディング曲:ザ・ブルーハーツ「夢」 出演:堀真一郎(きのくに子どもの村学園学長)、福田弘彦(伊那市立伊那小学校校長)、西郷孝彦(桜丘中学校校長)、茂木健一郎(脳科学者)、尾木直樹(教育評論家)、辻信一(文化人類学者)、高橋源一郎(作家)
おとなも子どもも、こんな学校に行きたかった！
テストや宿題、先生が存在せず、「自己決定・個性化・体験学習」を重視する学校「きのくに子どもの村学園」を取り上げたドキュメンタリー。主に「南アルプス子どもの村小学校」での学校の様子や生徒の活動を映し出す。

[上映日程] 4/30~5/13 (休映:5/9~10)
「週末こども映画館」対象作品につき、お子様同伴の大人1名1,200円/その他通常通り



オーストリアからオーストラリアへ ふたりの自転車大冒険

[2020年/オーストリア/ドイツ語/88分] 監督・脚本・撮影・編集:アンドレアス・ブチウマンとドミニク・ボヒス
冒険心を忘れない全ての人へ――。
アンドレアスとドミニクは、ドローンと4Kカメラを積んだ自転車、オーストリアからオーストラリアを目指す。ロシア、カザフスタン、中国、パキスタン、インドなどを横断しながら、最終目的地のオーストラリアのブリスベンに向かう。だが、水や食料の枯渇、灼熱、日射病など、様々な困難が待ち受けていた。

[上映日程] 4/23~29 (休映:4/25)